

# しろいし 区民のページ

2012年3月号

編集

白石区総務企画課広聴係  
〒003-8612 札幌市白石区本郷通3丁目北  
TEL 861-2400 内線 224  
FAX 860-5236  
Eメール: sh.somu@city.sapporo.jp



白石区役所ホームページ おもしろいしWEB  
<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/>

特集 未来に伝えよう「白石レンガ」

## しろいしな風景

「小さい春みつけた」

撮影日 平成23年3月30日

撮影場所 月寒川最下流

撮影者 佐ト爺さん

米里通の東栄橋を渡って、左岸を少し下った所に咲いていました。



マスコットキャラクター「しろっぴー」

## しろいしな風景 写真展を開催します!!

過去3回開催した「しろいしな風景」写真コンテストの応募作品で、白石の魅力を紹介します。

日時 平成24年3月12日(月)～25日(日)

地下鉄営業時間内 (12日は午後3時から)

場所 地下鉄東西線大通駅コンコース・ふれあい広場

募集中

「しろいしな風景」では、区内で撮影した風景写真を募集しています。ご応募いただいた写真は、このコーナーや区役所ホームページなどで紹介します。

募集要項は、区総務企画課広聴係と区内各まちづくりセンターで配布しているほか、区役所ホームページに掲載しています。内容を確認の上、ぜひご応募ください。

## 街かど掲示板

地域の団体からの情報です!! 詳細は、問い合わせ先へお尋ねください。

### 「チャリパト隊」「わんわんパト隊」募集!

【内容】 買い物や犬の散歩にお出掛けのとき、腕章を着けて地域を見守る方を募集します。  
チャリパト隊: 自転車でのパトロール  
わんわんパト隊: 犬の散歩をしながらパトロール

※腕章はお渡します。

【対象】 北東白石地区にお住まいの方

【問い合わせ先】 北東白石まちづくりセンター  
☎875-3077

### 町内会・自治会の活動に参加しましょう

町内会・自治会は、住民同士の交流や親睦をはじめ、地域の安全・安心や、快適な環境づくりなど、さまざまな活動を行っています。

住民同士が知り合い、つながりを持つことが、大きな災害が発生したときなど、いざというときに力を発揮します。みんなで支え合い、住みよいまちをつくるため、町内会活動に参加しましょう。

【問い合わせ先】 白石区町内連合会連絡協議会  
(事務局: 区地域振興課内) ☎861-2400内線223

掲載を希望する場合は、区総務企画課広聴係にご相談ください。多くの情報を掲載するため、掲載項目は、原則として「タイトル」「簡単な内容」「日時」「会場」「問い合わせ先」とさせていただきます。



## れんがに押すスタンプを作る



まち歩きで見つけたお気に入りの形から、れんがに押すデザインを考えました。

## まち歩き



学校や駅の周りを探索。いろいろな物を見て・聞いて・触って、新しい駅に残す形を探しました。

**次** 代を担う子どもたちに、新しい駅や白石のまちに愛着を持ってもらおうと、平成22年6月に始まった「つむつむレンガプロジェクト」。この取り組みに参加したのは、JR白石駅近隣の白石小、本通小、北郷小、北白石小の児童約400人です。

レンガウォールに組み込む作品を作るため、ワークショップを通じて、れんがに刻む模様やれんがの積み方を考えました。

まず、白石のれんがが生産にまつわる歴史を学習。学校や駅の周辺を歩いて、木や花、建物などに触れ、イメージを膨らませながら、れんがに押すスタンプをデザインしました。さらに「はな」「くるま」など、まちにある物の名前から新しい繰り返し言葉をづくり、その言葉を基にれんがの積み方を決めました。

昨春秋、駅北口に北郷小と北白石小の作品が、南口に白石小と本通小の作品がお披露目されました。ぜひ、子どもたちの未来へつなぐ思いを間近に感じてください。

つ  
む  
つ  
む  
レ  
ン  
ガ

JR白石駅の駅前広場で、人々の目を引くれんがの壁「レンガウォール」。そのユニークなデザインには、駅近隣の小学生のアイデアが生かされています。

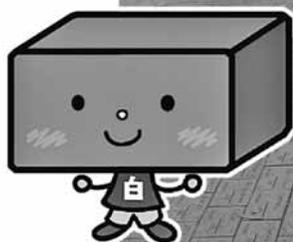


# 「白石レンガ」

JR白石駅周辺は、かつて良質なれんがの生産地でした。緑の深いれんがを未来に伝えようと、地域で2つのプロジェクトが進められました。

思  
い  
出  
レ  
ン  
ガ

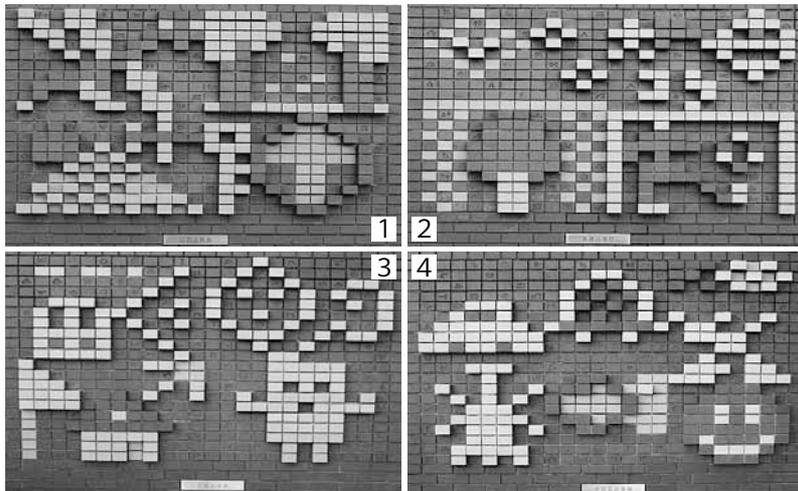
白石の土を使った「白石レンガ」が80年ぶり  
によりがえりました。  
区民などの名前が刻まれた褐色のれんがには、  
白石の歴史を未来に伝えたいという思いが詰  
まっています。





### 完成セレモニー

昨年11月24日に開かれた完成セレモニー。  
児童の代表が作品に込めた思いなどを話しました。



1 白石小学校、2 本通小学校、3 北郷小学校、4 北白石小学校  
1・2は南口、3・4は北口で見ることができます。

### テーマとなる言葉を考案



まちにある物の名前から、文字を抜き出して、「えきがうなーう えきがうなーう」など作品のテーマとなる新しい繰り返し言葉をつくりました。

### 積み方を考える



テーマを思い描きながら、色を変えたり飛び出させたりと、想像力豊かに積み方を工夫しました。

# 未来に伝えよう

希望者の募集や粘土採取など苦労もありましたが、完成した姿を見たときは感無量でした。白石レンガの歴史が、この広場を有効に使ってもらいたいという願いと共に、後世に伝わればうれしいです。雪解け後に、ぜひご覧ください。



JR白石駅思い出レンガプロジェクト事務局  
(NPO法人白石ネット内)  
白石 俊信 さん

**白** 石の土を採取して「白石レンガ」を復活させ、希望者の名前を刻んで、駅前広場に敷設する「思い出レンガプロジェクト」。住民が中心となり、粘土の調査や採取、刻印希望者の募集を進めました。  
れんがの原料となる粘土は、平成21年春、平和通4丁目北で土地所有者の協力を得て採取。一方、平成21年7月から同22年12月まで刻印の希望者を一口2千円で募ったところ、目標の5千個を上回る5千279個の申し込みがありました。  
駅前広場に敷き詰められた白石レンガ。長年刻まれた白石の歴史を未来に伝えたいという思いが、れんがが一つ一つに込められています。





▲明治19年の鈴木煉瓦製造場（文化資料室所蔵）

# 「白石レンガ」 の歴史

～鈴木煉瓦製造場の軌跡～

**札** 幌のれんがが製造の歴史は明治時代までさかのぼります。その発祥といわれる工藤宇三郎氏の工場（現在の中央区）が、明治10年、1万1千個のれんがを開拓使工業局に納入したという記録が残っています。

その後、明治20年代まで白石村と月寒村を中心にれんが工場が次々誕生。中でも操業が長く続き技術的に優れていた工場として第一に挙げられるのは、鈴木佐兵衛氏が明治17年に創設した「鈴木煉瓦製造場」です。

白石村87番地（現在の本通9丁目ほか）で、鉄道施設用などのれんがを生産・供給。良質な粘土を生かして北海道における本格的なれんが製造業の先駆けとなりました。北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）に使用されているれんがの多くがここで造られたものといわれています。また、サッポロビール博物館（旧札幌製糖工場）などにも使われました。

明治21年に完成した北海道庁旧本庁舎は、同42年に大火災に見舞われますが、頑丈で良質のれんがは損傷も少なく、大部分を残したまま修復されました。

れんがの他にも瓦や土管などの製造を手掛けた鈴木煉瓦製造場は、白石村民の格好の稼ぎ場でした。農業で生計が成り立つまではここで稼ぎが唯一の現金収入で、家計は大いに助かったといえます。

また、明治36年4月に本格的な駅舎が完成した白石駅の敷地は、同製造場の当時の社長・豊三郎氏（佐兵衛氏の長男）が提供。労力や資金の援助もしたといわれています。

札幌のまちづくりに大きく貢献した鈴木煉瓦製造場ですが、幌内鉄道を経営する北海道炭鉄道株式会社が野幌に大規模なれんが工場を開設したこと、セメントやコンクリートなど、れんがに代わる建築資材が現れたことなど、さまざまな要因が重なり、徐々に生産が減少。大正末期に閉鎖となりました。

**つ** つむレンガ・思い出レンガ  
むつむレンガ2つのプロジェクトは、白石レンガの歴史を後世に伝えようと取り組まれたものです。

生まれ変わった駅前広場で新たな時を刻み始めた白石レンガ。その歴史と共に、このプロジェクトに携わった現代の多くの人の思いを未来に伝えます。

【参考文献】白石歴するべ、札幌の歴史第15号、さっぽろ文庫第26巻「明治の話」ほか

## つむつむレンガ・思い出レンガ

設置場所：JR白石駅南北駅前広場  
（平和通3丁目北、北郷1条5丁目）



【詳細】

つむつむレンガについて  
建設局土木部道路課 ☎211-2617  
思い出レンガについて  
NPO法人白石ネット ☎866-6683



▲現在のJR白石駅・自由通路





# 白石区からの お知らせ



3月11日からの情報を掲載しています。費用の記載のないものは全て無料です。

市コールセンター ☎222-4894

## 白石区役所関係

白石区役所 ☎861-2400  
本郷通3丁目北

白石保健センター ☎862-1881  
本郷通3丁目北

白石区土木センター ☎864-8125  
本通14丁目南

## まちづくりセンター

白石 ☎861-8270  
南郷通1丁目北 This.1パークビル2階 (仮事務所)

東白石 ☎861-9262  
本通13丁目南

東札幌 ☎811-9355  
東札幌2条4丁目

菊水 ☎811-9445  
菊水7条2丁目

北白石 ☎874-0293  
北郷2条3丁目

北東白石 ☎875-3077  
北郷3条12丁目

白石東 ☎862-0813  
本通18丁目南

菊の里 ☎871-2355  
菊水元町8条1丁目

## その他の施設・機関

白石区民センター ☎861-3100  
本郷通3丁目北

北白石地区センター ☎874-8232  
北郷3条7丁目

白石東地区センター ☎866-3000  
本通16丁目南

菊水元町地区センター ☎872-7600  
菊水元町5条2丁目

白石区保育・子育て支援センター ☎868-3160  
(ちあふる・しろいし)本郷通3丁目北

東部市税事務所 ☎802-3912  
厚別区大谷地東2丁目 交通局庁舎1・2階

白石清掃事務所 ☎876-1753  
東米里2170

東札幌図書館 ☎824-2801  
東札幌4条4丁目

白石区体育館 ☎861-4014  
南郷通6丁目北

白石消防署 ☎861-2100  
南郷通6丁目北

## 白石区の人口・世帯数

人口 205,363人 (+8)

世帯数 102,049世帯 (+41)

※平成24年2月1日現在 (前月比)

## 白石区内の交通事故・火災件数

	発生	死者	負傷者
交通事故	96件(-31)	0人(-1)	112人(-28)
火災	7件(±0)	1人(±0)	1人(-1)

※平成24年1月1日～2月15日 (前年比)

## 白石保健センターから

◎胃がん・大腸がん検診(予約制)

日時 3月26日(月)、4月23日(月)午前8時45分～10時

対象 区内にお住まいの40歳以上の方(職場などで受診できざる方を除く)。

費用 胃(バリウム) 700円。大腸(検便) 400円。

## 絵本をお譲りください

ご家庭で不用になった乳幼児向け絵本(破損・汚損のないもの。図鑑・月刊誌は対象外)をお譲りください。

区内の保育所や子育てサロン、児童会館などで活用します。



受け付け 3月12日(月)～19日(月)の午前9時～午後5時(土・日曜を除く)に区健康・子ども課子育て支援係で。

【詳細】区健康・子ども課子育て支援係(白石保健センター内) ☎861-0345

## 白石消防団員を募集



現在、菊水西分団と東米里分団の団員を募集しています。活動は、災害出動、消火訓練、応急手当て指導、火災予防啓発などです。報酬の支給、制服貸与、表彰制度、災害補償などがあります。詳しくはお問い合わせください。

対象 菊水(いづれかの条丁目)または東米里(いづれかの番地)に居住か通勤・通学する18歳以上の方。

【申込先・詳細】白石消防団本

## 部事務局(白石消防署内) ☎(861)2100

## ご近所先生企画講座

◎子連れヨガ☆キレイなママを目指そう

日時 5月21日～6月18日の月曜。午前10時～正午。全5回。※5月14日(月)午前10時からオンラインセッションあり。

会場 白石区民センター。

対象 市内に居住か通勤・通学する15歳以上の方(中学・高校生を除く)。

定員 20人(多数時抽選)。

費用 3千円。

申込 講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、3月25日(日)までにはがきかファクスで。窓口でも可。

【申込先・詳細】札幌市生涯学習センター事業課(〒063-0051 西区宮の沢1条1丁目) ☎(671)2311、FAX(671)2334

## 白石区民センターから

◎単身高齢者さぼーと「つるばら茶論」



一人暮らしの高齢者が気軽に集い、交流を深める場です。今回は、「ボール」「ベル」「ベルター」の3つの用具を使う健康体操「3B体操」を学びます。

日時 3月16日(金)午後1時30分～2時30分。

定員 15人(先着順)。

【申込先・詳細】白石区民センター ☎(861)3100

あみだぶつ

無事故いのって

手を合わす

シロイシ・シルバーセーフティ川柳コンクール

交通部門 優秀作





※施設の所在地、電話番号は、白石5ページの施設一覧をご覧ください。

**白石東地区センターから**

◎ミニコンサート

バイオリン・フルート・ピアノのアンサンブルで、クラシック音楽を楽しみます。  
日時 3月24日(土)午後2時  
詳細 白石東地区センター(866)3000

菊水元町地区センターから

◎パソコン講習会(ワード初級)

申込先・詳細 菊水元町地区センター(872)7600

◎読み聞かせ会

日時 3月17日(土)午前10時30分

東札幌図書館から

◎楽しいお話し会



絵本の読み聞かせや紙芝居を楽しみます。  
日時 3月10日(土)、24日(土)午後2時

日時 4月9日(月)～20日(金)の月・水・金曜。午後7時～9時。全6回。

801 詳細 東札幌図書館(824)2

**川への雪捨てや川に近づくことはやめましょう**

川に雪を捨てると、水の流れが悪くなり、川があふれる原因となります。川に雪を捨てないようにしましょう。また、川の周辺の雪や氷は崩れやすく危険ですので、川には近づかないでください。



詳細 建設局河川管理課(818-3415)

**相談コーナーをご利用ください**

詳細 区総務企画課広聴係(861-2400)内線224～226 (あいワーク) 経済局雇用推進課(211-2278)

区役所2階の相談コーナーでは、専門の相談員が無料で各種ご相談に応じています。なお、行政相談の相談日は、4月から**第2火曜を除く火曜**となります。

相談名	相談内容	曜日	時間	相談員
法律相談(要予約)	困り事、争い事の法的見解、解決方法について	第1・3月曜	午後 (1人20分間。予約時に指定)	弁護士
司法書士相談	不動産売買、相続、登記、遺言、賃貸借などについて	第2・4火曜	午後1時～4時	司法書士
家庭生活相談	家庭生活、生き方、近隣関係、育児、夫婦関係、心情、悩み事などについて	水・金曜	午前10時～正午 午後1時～4時	家庭生活 カウンセラー
交通事故相談	交通事故の示談、保険金請求などに関する事	第2・4木曜 (4月12日(休)を除く)	午前9時30分～午後0時15分 午後1時～4時	交通事故相談員
行政相談	国やその関係機関などの仕事に関する事	火曜	午後1時～4時	行政相談委員
職業相談 (あいワーク白石)	就職などに関する事(職業紹介・カウンセリング含む) ※ハローワークの求人検索機あり	月～金曜	午前8時45分～正午 午後1時～5時	ハローワーク相談員 市職業相談員

※祝・休日、年末年始は休み。法律相談の予約(定員8人・先着順)は相談日の当日、午前9時から電話で受け付け。法律相談と司法書士相談を除き、電話での相談も可。予約・相談は(861-2400)。

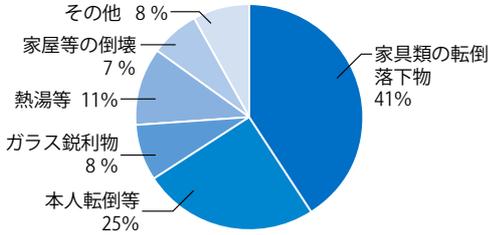
広告





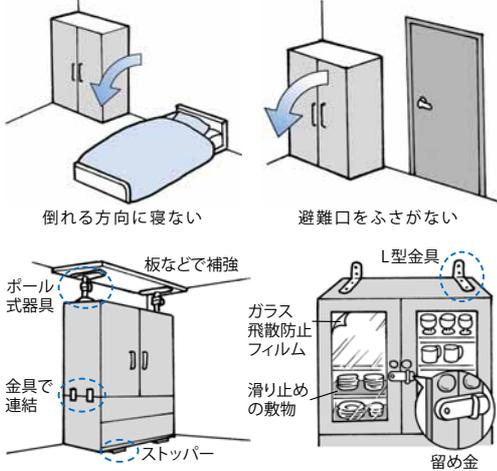
●家具の転倒や落下による負傷が多い

【新潟県中越地震での負傷原因】



(出典：東京消防庁による平成16年調査結果)

●家具の安全対策をしよう



※突っ張り棒などの固定器具を取り付けるには、壁や天井の強度が必要です。工務店など専門業者に相談してください。

東日本大震災の余震や誘発地震と考えられる揺れが、今も日本各地で発生しています。政府や地震の研究機関から、今後の大きな地震の発生予測が発表されていますが、現在の知見で

地震から身を守るためには、家具の配置や固定がとても重要。本棚やたんす、食器棚、冷蔵庫、テレビなど、家の中の重たい家具や家電の置き方

地震の発生自体を防ぐことはできませんが、地震が起きたときの被害を少しでも減らすため、日頃からの備えを怠らないように、みんなで心掛けましょう。

しろっぴーノート

地震への備えを見直そう

東日本大震災から1年が経過します。一日も早い被災地の復興を願うとともに、地震に対する身の回りの備えを、この機会に見直しましょう。



は、いつ、どこで、どのような地震が発生するかを正確に予知することはできません。普段から、地震の備えを欠かさないことが大切です。平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、多くの方が家屋や家具の倒壊によって亡くなりました。また、平成16年の新潟県中越地震では、負傷の約4割は、固定していない家具の転倒や落下物が原因でした(左図参照)。

地震の発生自体を防ぐことはできませんが、地震が起きたときの被害を少しでも減らすため、日頃からの備えを怠らないように、みんなで心掛けましょう。

宮城県白石市への支援

東日本大震災では、白石区と縁の深い宮城県白石市も、大きな被害を受けました。

白石区ふるさとまつりなどの行事で交流を続けている同市を支援するため、まつりを主催する白石区ふるさと会では、被災された方々へのお見舞いとして義援金を募り、寄せられた46万3千493円を白石市に送りました。

また、昨年のまつり会場では、来場した区民の皆さんと一緒にタイトルを制作。「千の願い」と名付けられた作品は、同会の武藤征一会長と堀口洋一白石区長が、同市の風間康静市長に届けました。現在、白石市役所の玄関に飾られています。



▲(右から) 風間白石市長、武藤会長、堀口白石区長

広告





# しろっぴーのアルバム

白石区役所ホームページ「おもしろいしWEB」でも区内の行事の様子を紹介！  
<http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/news/>

## 北東白石地区「雪あかりのまち」(1月20日)



約600個のアイスクャンدلが、JR平和駅前の道沿いなどを照らしました。思わず足を止める人や、写真を撮る人の姿が見られました。

## 中学生が除雪ボランティア(1月28日)



日章中学校の2年生約60人が、東札幌地区で一人暮らしをする高齢者の自宅周りを除雪。氷点下の寒さを忘れるほど熱心に作業しました。

## 白石区子どもかるた大会(1月29日)



区内の小中学生12チーム約50人が、百人一首の「下の句かるた」で熱戦を展開。読み手の声に耳を澄ませ、木札を素早く奪い合いました。

## 親子でチャレンジ(1月29日)



東白石地区の親子など約150人が、昔遊びや餅つきを楽しみました。大人に竹馬などを教わり、夢中で遊ぶ子どもの笑顔が会場にあふれました。

## 菊水地区雪中運動会(2月4日)



地域の親子など約350人が、いろいろな雪中競技に挑戦。子どもたちが雪の上を走る姿に、観客から「頑張って」と大きな声援が飛んでいました。

## 東米里地域防災協働コミュニティ協定書調印式(2月7日)



東米里町内会、北海道札幌白陵高等学校、白石区が市内初の防災三者協定を締結。災害に強いまちづくりを目指して協力し合うことを誓いました。

